

パブリックコメントの実施結果について

- 1 案件名 阿賀野市行政改革推進計画(案)
- 2 担当課・係 企画財政課・企画係
- 3 募集期間 令和2年5月11日(月)から令和2年6月8日(月)まで
- 4 公表資料 **【概要版】**阿賀野市行政改革推進計画(案)
【計画本体】阿賀野市行政改革推進計画(案)
- 5 募集方法 市広報紙及び市ホームページに掲載
- 6 資料の入手方法
(1) 市ホームページからダウンロード
(2) 次に掲げる市施設で配布

施設名	配布時間等
企画財政課 (市役所2階)	土曜、日曜日を除く午前8時30分から午後5時15分まで
各支所 (安田・京ヶ瀬・笹神)	土曜、日曜日を除く午前8時30分から午後5時15分まで
市立図書館	午前9時30分～午後7時まで(土曜・日曜日は午後5時まで) ※休館日[5月11日(月)、18日(月)、21日(木)、25日(月)、6月1日(月)、8日(月)]を除く

7 意見の提出件数

提出方法	提出人数(人)	意見数(件)
持参	1	17
郵送	0	0
FAX	0	0
電子メール	0	0
合 計	1	17

8 意見及び考え方

番号	意見等の概要	市の考え方
1	<p>・計画の全般的事項</p> <p>阿賀野市財政計画と阿賀野市行政改革推進計画(案)は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて見直しが必要と思われるが所見を伺う。</p>	<p>ご意見のとおり、現段階では、財政計画及び本計画は、新型コロナウイルス感染症の影響について反映していません。</p> <p>財政計画は、毎年、予算編成時に社会情勢や、それに伴う財政状況の変化等を踏まえ見直しすることとしており、その財政計画を分析の基礎とする本計画についても、財政計画の見直しがあった時点で適宜見直しを行っていきます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響に伴う見直しを含めて、財政計画と一体的に推進することで、今後の社会情勢等を柔軟に反映いたします。</p> <p>(関連記載内容) P12「6計画の概要 (3) 推進体制」1行目 「市長を議長とした「市政経営会議」において取組内容の指示、調整を行い、進捗について毎年ローリングによる内部評価、見直しを実施します。」</p> <p style="text-align: right;">【計画内容の変更なし】</p>
2	<p>・概要版P1 ・計画本体P2「3行政改革推進計画の目的と効果」</p> <p>「今後想定される主な課題」については、直接的に財政に影響を与えるものとして「直接的大きな影響(課題)」という表現にすべき。</p>	<p>「今後想定される主な課題」の4件は、今後、明確に増加が見込まれる財政負担として挙げたものであり、意図して財政状況に直接的な影響がある課題を列挙したものではないことから、表現の変更は行いません。</p> <p style="text-align: right;">【計画内容の変更なし】</p>
3	<p>・概要版P1 ・計画本体P2「3行政改革推進計画の目的と効果」</p> <p>「間接的に」影響を与えるような課題は想定していないか。</p>	<p>間接的な影響という趣旨を、外的要因による財政状況への影響と捉えた場合は、現段階で想定される課題は主に次の3点が挙げられます。</p> <p>①令和2年度からの国の制度変更(会計年度任用職員制度の開始)による「人件費」の増加。(財政計画では、令和元年度決算見込から令和2年度当初予算で総額280百万円の増を見込む。)</p> <p>②少子超高齢化に伴う社会保障関係経費の増加。(財政計画では、児童手当を毎年△1.5%、その他の扶助費を毎年+2.0%で見込むため毎年60百万円ベースで扶助費が増加すると想定している。)</p> <p>③新型コロナウイルス感染症の影響による市税等の収入減少。(影響等の反映は番号1の考え方のとおり。)</p> <p style="text-align: right;">【計画内容の変更なし】</p>

番号	意見等の概要	市の考え方
4	<p>・計画本体「1はじめに」</p> <p>文言の言い回しを※添付のとおり に検討すべき。</p> <p>※添付いただいた内容については公表を 割愛します。</p>	<p>ご意見のとおり、現在の社会情勢を踏まえて、自然災害に限定しない対策とするため、5行目「また、近年は、全国的に深刻化する自然災害への万全な対策も急務であり」を、「また、近年は、全国的に深刻化する自然災害に加え、新たな感染症などへの対策も急務であり」に変更します。</p> <p style="text-align: right;">【計画内容の変更あり】</p>
5	<p>・計画本体「1はじめに」</p> <p>新型コロナウイルス感染症について、 取扱いの内部協議がなされていない のであれば、文末に加筆すべき。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症に伴う影響については、番号1の考え方のとおりです。</p> <p>については、ご意見のとおり、新型コロナウイルス感染症に伴う影響をはじめとした全般的な環境変化を今後の見直しに反映することを踏まえ、文末に下記の文言を追記します。</p> <p>「なお、今後の社会情勢や環境変化による財政状況への影響に注視し、弾力的に本計画に反映していくため、適宜見直しをしていきます。」</p> <p style="text-align: right;">【計画内容の変更あり】</p>
6	<p>・計画本体P1「2これまでの行政改革の歩み」3行目</p> <p>「経費削減を行うことで」と「市民生活意識や価値観の多様化、社会経済状況の変化等に対応するための行政改革を進めてきました。」の結びつきが不明確。</p>	<p>平成16年度の阿賀野市制施行による行政規模の拡大に伴い、多様化した市民生活への需要(旧4町村での制度、需要の違いに伴う調整や事業拡大など)や、国の三位一体の改革に伴い大幅に縮減傾向にあった普通交付税への対応のため、当時策定した阿賀野市行政改革大綱に基づき、徹底した経費削減を進めてきた経緯を記載したものです。</p> <p>ご意見を踏まえて、3行目に「旧4町村の合併後に生じた」を一文加えます。</p> <p style="text-align: right;">【計画内容の変更あり】</p>

番号	意見等の概要	市の考え方
7	<p>・計画本体P1「2これまでの行政改革の歩み」5行目</p> <p>「しかしながら、」以降の説明は業務改善に取り組んできたことを表現したいのか。</p>	<p>番号6の考え方のおり、当市では市制施行後の数年間の行政改革を、経費削減に主眼を置いて取り組んできましたが、平成27年度以降は、国の基本方針に準じて、経費削減の視点だけにとらわれず、業務改革(従来の業務内容及び、やり方(プロセス)の改善)の推進も進めてきたことを記載したものです。</p> <p>ご意見を踏まえて「しかしながら、」の接続詞以降を、下記のおり変更します。</p> <p>「また、平成27年度には、国によって「経済財政運営と改革の基本方針2015」(平成27年6月閣議決定)に基づく「地方行政サービス改革の推進に関する留意事項」が示され、地方においても積極的な業務改革の推進が求められることになりました。</p> <p>当市では、この流れに対応するため、平成28年度に策定した現総合計画の推進に当たって、行政評価の手法を導入することで、これまでの経費削減と併せて、業務改革の推進にも着手してきました。」</p> <p style="text-align: right;">【計画内容の変更あり】</p>
8	<p>・計画本体P2「3行政改革推進計画の目的と効果」3行目</p> <p>「将来負担比率」について注釈として説明の挿入と、具体的な決算数値を示すべき。</p>	<p>3、4行目に記載の「将来負担比率」の内容を、文末に注釈として下記のおり挿入して、5行目の文頭に「このことから、」の接続詞を加えます。</p> <p>「※将来負担比率とは、一般会計等が将来負担すべき実質的な負担(公債費や職員退職手当、債務額など)が標準財政規模に対して何年分であるかを示す指標で「将来の財政負担となる要素の度合い」を表しています。</p> <p>【参考:当市では平成26年度の124.2%以降は、上昇傾向にあり、平成30年度では147.9%で県内20市中2番目に高い状況です。】」</p> <p style="text-align: right;">【計画内容の変更あり】</p>
9	<p>・計画本体P2「3行政改革推進計画の目的と効果」3行目</p> <p>「将来負担比率」が高い背景について、具体的に主たる要因を示すべき。</p>	<p>当市の将来負担比率が高い背景、主たる要因については、歳出の分析としてP9 6～12行目に記載のおりです。</p> <p style="text-align: right;">【計画内容の変更なし】</p>

番号	意見等の概要	市の考え方
10	<p>・P3「4財政計画にみる将来展望」表1「交付税算入の低い市債借入を減じた場合の収支試算」について</p> <p>人件費を据置している理由、根拠を示すべき。</p>	<p>「表1 交付税算入の低い市債借入を減じた場合の収支試算」は、財政計画に基づく収支をベースとしています。</p> <p>財政計画で、人件費を含めて各費目について推計方法を記載していますので、本計画では、改めて算出根拠の記載は割愛しています。</p> <p>なお、人件費の基礎となる職員数については、現段階で令和2年度以降の「定員適正化計画」を策定中であることから、財政計画上では会計年度任用職員制度を反映した令和2年度当初予算をピーク(上限)と捉えて据置きしているものです。</p> <p>定員適正化計画策定後に、財政計画の見直しを行い、両計画と一体的に管理する本計画にも反映します。</p> <p>(参考) 【財政計画】P6「8 歳出計画値の推計方法」</p> <p style="text-align: right;">【計画内容の変更なし】</p>
11	<p>・P8「5財政計画と要因分析(2)歳出構造Ⅱ投資的経費と維持管理費」グラフ10平成29年度決算における歳出構造比較(人口1人当たり)」について</p> <p>「投資・出資金・貸付金先」ごとの金額的推移、収支を別表などで示すべき。</p>	<p>平成29年度における「投資・出資金・貸付金」の主な内容は、P9 1、2行目の記載のとおりであることから、詳細の追記は割愛します。</p> <p>なお、平成29年度の決算内訳は下記のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投資・出資金・貸付金総額 622,312千円 ①貸付金350,000千円のうち主な内訳 <ul style="list-style-type: none"> 産業育成資金貸付金 160,000千円 中小商工業振興資金貸付金 170,000千円 ※上記貸付金は、市内企業の発展と振興を目的としたもので、毎年、指定した金融機関に資金を預託することによって、市内企業が金融機関を通じて有利な融資を受けることができる制度です。なお、預託金は年度末に金融機関から回収(歳入計上)しています。 ②出資金272,312千円 <ul style="list-style-type: none"> 病院事業会計への出資金 272,312千円 <p>あがの市民病院建設事業に要する費用として、一般会計から病院事業会計に出資金として繰出したものです。</p> <p>新病院への移行後は減少していますが、今後の大型医療機器更新や病院の経営状況によっては変動することが想定されるため、本計画では、この出資金部分を、投資・出資金・貸付金の項目が増えた主な要因として記載しています。</p> <p>なお、上記の病院事業会計への出資金は、類似団体平均等との比較で用いる「地方財政状況調査」においては「出資金」の費目で仕分けしますが、一般会計の予算費目をベースとする財政計画では「繰出金」に仕分けしているため、財政計画での出資金額とは一致していません。</p> <p style="text-align: right;">【計画内容の変更なし】</p>

番号	意見等の概要	市の考え方
12	<p>・P8「5財政計画と要因分析(2)歳出構造Ⅱ投資的経費と維持管理費」グラフ10平成29年度決算における歳出構造比較(人口1人当たり)」について</p> <p>「維持補修費」における主な施設と金額を別表などで示すべき。</p>	<p>平成29年度における「維持補修費」の主な内容は、下記のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・維持補修費総額 509,883千円 (主な内訳) 除雪に係るもの 428,291千円 市役所庁舎、支所に係るもの 8,294千円 小学校施設に係るもの 8,238千円 <p>維持補修費で最も大きな費用は除雪に係るもので、年度ごとの降雪量によって変動します。 また、その他の施設の維持補修費についても、現在の運用は、支障が生じた場合に予算を計上して修繕を実施しており、「予防修繕」を行うことで延命化を図るような計画に基づく支出ではないことから、年度ごとに規模や内訳が大きく変わります。 以上のことから、単年度の内訳が分析に有益と判断し、内訳を記載することは想定していません。 今後は、公共施設の将来的展望を踏まえた施設マネジメントによって、計画的な修繕を行うことで年度ごとの経費の差の平準化を検討します。</p> <p style="text-align: right;">【計画内容の変更なし】</p>
13	<p>・P9「5財政計画と要因分析(2)歳出構造Ⅱ投資的経費と維持管理費」4行目</p> <p>「今後は、繰出金の大幅な増加の抑制と、事業会計内での収益向上を目指します。」と記載されており、最も重要な案件であれば重点指標として管理すべき。</p>	<p>事業会計では、それぞれがもつ経営改善計画において目標を設定することで、経営改善を図っていることから、その事業会計の経営計画での一般的な目標を記載したものです。 このため、本計画で、事業会計に係る指標の進捗管理や具体的対策を講じるものではありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業:経営戦略(R1～R10) ・病院事業 :あがの市民病院改革プラン及び病院経営改革審議会での進捗管理。 <p style="text-align: right;">【計画内容の変更なし】</p>

番号	意見等の概要	市の考え方
14	<p>・P9「5財政計画と要因分析 (2)歳出構造 II 投資的経費と維持管理費」14行目</p> <p>「基金取崩しの抑制と一般財源の確保による積極的な繰上げ償還が効果的と考えられます。」と記載するのであれば、繰上げ償還計画の表やグラフを示すべき。</p>	<p>現段階では、具体的な繰上げ償還計画はありません。繰上げ償還は、将来負担比率の低下に効果的である一方で、原則として、その償還には、繰上に伴って相手方が被る利息損失などを補てんするための補償金が発生するなど、相対的に考慮すべき要素があることから、本計画予定期間の4か年で効果的な対策となり得るかは、さらに精査が必要であると改めて判断しました。</p> <p>これを踏まえて、文言を削除して「基金取崩しと交付税算入が低い市債借入の抑制が効果的と考えられます。」に改めます。</p> <p style="text-align: right;">【計画内容の変更あり】</p>
15	<p>・P10「5財政状況と要因分析 (3)まとめ」</p> <p>今後の取組の目標であって強調する部分であるため、囲い込みまたは太字等の表現にするべき。</p>	<p>「5財政状況と要因分析」中の「(3)まとめ」という位置づけから、章を格上げして「6これからの取組(まとめ)」として構成を改めます。</p> <p>また、番号14の考え方のとおり「基金取崩しの抑制と一般財源の確保による積極的な繰上げ償還」という取組を削除して「基金取崩しと交付税算入が低い市債借入の抑制」に改めます。</p> <p style="text-align: right;">【計画内容の変更あり】</p>
16	<p>・P13、14「7計画の構成」</p> <p>基本目標に次ぐ具体的な取組計画(短期・中期の計画)が掲載されていない。</p>	<p>ご意見のとおり、基本目標の下に紐付いた具体的な課題解決への取組によって、本計画は実行していくこととなります。</p> <p>この取組の一覧は「実行計画」として、令和2年度中に関係各課とともに全庁的に構築することを目指しています。</p> <p>このパブリックコメントは、具体的な取組を検討して前段として、市の行政改革の基本方針及び基本的な事項を定める部分を、市民の皆様からご意見いただくことを目的としているため、実行計画を構築する前に実施しているものです。</p> <p>今回いただいたご意見を踏まえて今年度末までに、本計画と、実行計画を策定し令和3年度から実施していくこととします。</p> <p style="text-align: right;">【計画内容の変更なし】</p>

番号	意見等の概要	市の考え方
17	<p>・P18「8成果指標 (3)個別分野計画に基づく連携指標 II 組織・人事マネジメントの充実(定員適正化計画)」</p> <p>組織、業務を動かすには一定のマンパワーが必要である。職員採用、確保、育成、教育、評価等、市の基本的な考え方や、必要な職員数を示すべき。</p>	<p>ご意見にある詳細の職員マネジメントについては、本計画と一体的に指標を管理する「定員適正化計画」において具体的内容を示すことから、本計画では記載しません。</p> <p>なお、現段階で令和2年度以降の定員適正化計画を策定中のため、財政計画においても職員数及び人件費を据置きとしているところです。</p> <p>このため、番号1の考え方のおり、定員適正化計画で具体的な人事マネジメントを策定した後、本計画についても職員数及び人件費等の見直しを図ります。</p> <p style="text-align: right;">【計画内容の変更なし】</p>

※意見等の概要は、趣旨を変えない範囲内で、一部表現を改めている箇所があります。